

令和4年防災週間の地域「避難訓練」の実施

仁川町2丁目自治会

事業費 162,142 円
助成額 100,000 円

●当初の課題・事業目的

令和2年11月に実施した「三世代に繋ぐ阪神・淡路大震災から学ぶ自主防災」の継続事業として「避難訓練」を計画しました。「楽しく学べる」をテーマに近隣自治会を含めてのご提案を受けて「防災・避難訓練」スタンプラリーとして実施しました。一方、避難所へのマッピングは当初の計画通り、スタッフのみで欠かさず実施しました。参加者には避難所や防災施設見学をスタンプラリーで巡り、楽しく学んでいただくことができました。



会長 古川 健造

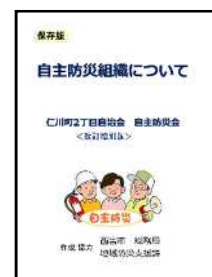
●事業概要

【実施日時】令和4年9月17日（土） 10時30分～13時00分

当該地域の防災・避難所（大規模災害時の指定避難場所）のうち、段上西小学校、西宮市消防団段上分団、甲東センターの3箇所を巡り、それぞれ校区防災倉庫の資機材の点検、消防自動車見学、避難グッズや備蓄用食料、震災写真パネル見学など、高齢者から小学生、年中さんまで52名が参加されました。

大規模災害時の指定避難場所は段上西小学校であることはご存知でしたが、甲東センター、段上センター（今回は巡っていません）も指定避難場所であることを周知できました。

スタンプラリーを完成された方は「防災・避難訓練」を学び、又、非常用持出袋とアルファ化米をお渡ししたことで、防災・避難への取り組みの意識を一層強化されました。参加いただけなかった方には、冊子「防災組織について」を配布しました。防災や避難訓練に役立てていただけたと考えています。



●事業の成果・工夫した点

目的の「防災・避難訓練」はアンケート調査の結果、93%の方の満足の評価をいただきました。一方、参加13名のお子様の評価は、会場やその後の聞き取りによると全員が楽しめたようです。消防自動車に乗れたこと、又、子どもはスタンプラリーが大好きで、当日に記名入り参加認定書をお渡しできて良かったと思います。

●苦労した点・今後の課題

会場が3箇所と分かれているため、スタンプの押印、資機材の説明員、感染症対策、誘導など、スタッフ確保が大変でした。防災会班長を中心に12名のスタッフで対応しました。

近隣自治会の参加は、呼びかけが遅くて申し訳なかったのですが、防災活動では共同で参画することで一致できました。

●責任者のコメント

校区防災倉庫のある段上西小学校では校庭を解放いただき、西宮市消防団段上分団では消防車見学をさせていただきました。西宮市地域防災支援課から非常用持出袋やアルファ化米を提供いただき、次回に繋げる「防災・避難訓練」のスタンプラリーとなりました。すべての関係者にお礼申し上げます。